

マーズGO!

紙屋 結良

私は宇宙へ行きたい。世界中には宇宙へ行きたい人があふれている。そんな中、宇宙へ行けるのは難しい試験に合格した、たった数人の宇宙飛行士だけ。そこで私は考えた。宇宙飛行士しか行けない宇宙。そんな宇宙へ行きたい夢をかなえるために「宇宙旅行」を現実させればいいんだと。

宇宙旅行で行こうと思うのは「火星」だ。

なぜ火星かと思う人も多いただろう。今、NASAが2030年に火星へ人を送る計画をしているからだ。地球に住めなくなっただけに次に住むのは火星。地球に住めなくなっただけから火星に住めるようにするのはおそい。だから今から火星に住めるようにし、実際に一般の人が火星で生活するのだ。宇宙に行きたい人は、宇宙旅行もでき、火星での生活体験もできる。さらに、火星での生活をよりよくするために、一般の人の意見も聞けて、一石

二鳥。こんないいこと他にない。だから私は、宇宙旅行を実現させたいと心から思う。

実際、火星での生活を宇宙旅行で楽しんでもらうには、多くの人の費用、そして時間が必要だ。実験だって衣食住全てのことを調べないといけない。だから火星生活計画は、地球に住んでいる全ての人に協力してもらわな
いといけない。

まずは人。宇宙に興味がない人もいるし、みんなが火星生活のことで働くと、地球での生活が成り立たない。そこで考えた。例えば服のことについてユニクロの会社に手伝ってもらったり、食べ物のことについて栄養士さんに手伝ってもらう。このように、会社で協力してもらおうと思います。そしてら時間もそこまでかからない。

それから費用。募金を世界各地でする。みんな人生に関係があるのかもと思って、たくさんしてくれらると思う。募金の宣伝を、テレビやラジオでやったりする。他にも、このも

のを買うと3分の1は火星生活の費用として使われます、などみんなの負たんにならない程度で進めていくといいと思う。

私が、宇宙旅行で火星での生活を体験してもらう理由は、お客さんに楽しんでもらいたいというのも一つ。だけれどもう一つの理由がある。それは、次に生まれてくる人たちの助けになればいいなと思うから。私は、自分のことばかり考えている人間でなく、自分のことより他の人のことを先に考える人間になりたい。私は、一番興味のあるこの宇宙で、人助けができたらいいなと思う。